

日本共産党湘南地区委員会

青年・学生オーガナイザー

小松崎 和奈さん

個人的なことは

政治的なこと

一番楽しいのは、フェミ

友（フェミニストの友人）

と語り合うことです。日々

感じているモヤモヤに共感

してくれるフェミ友は、活

わせて話せるフェミ友が一番。お互いによく知っている仲であることも一因ですが、文字や音声で残したくない会話もできることが安心材料です。

また、こうした愚痴りあ

いの中から、こんな運動し

てみたい、とインスピレー

ションを得られることもあ

ります。まさに「個人的な

ことは政治的なこと」です。

新しいフェミ友と出会う

こともエネルギーのひとつ

です。ひとつちにフェミニ

ストといっても、全員がぴ

ったり同じ考えを持ってい

るわけではありません。ひ

とひとりひとり関心は違うし、

ときには正反対の意見を持

っていることもあります。

そんな中で、ひとつのテー

マだけでもぴったり考えの

合うフェミニストと出会っ

たときの感動はひとしおです。そんな方との話は本当に尽きません。私にも、初

対面にも関わらず喫茶店で

5時間喋り続けたり、話し

込むあまり終電を逃したり

したことがあります。

いま振り返ってみても、

新しいフェミ友と出会うと

いうことは、それだけエネ

ルギーになるんだなと改め

て実感するところです。

これまで全3回、私の活

動のエネルギーになってい

ることについてお話しして

きました。連載のテーマを

決めたきっかけは、あるベ

テラン世代の方から「活動

のモチベーションって

何？」と聞かれたことでし

た。この連載が、そうした

疑問に応えられるものであ

れば嬉しいです。

私言もいたい

— フェミニスト編 ③ —

動していく上でのエネルギーでもあるし、少し疲れてしまったときの休憩所的な存在でもあります。

私がフェミ友とよく話すのは、リプロダクティブヘルス&ライツやミンシニ―に関することです。文章に

してみるとお堅く聞こえますが、「女子出産する人々の意味わからん」「あの電車広告、女馬鹿にしてるよね」など、日常の愚痴に近いものです。こうした普段

のモヤモヤはSNSでも共有でき

ますが、や

はり顔を合



わせて話せるフェミ友が

(おわり)